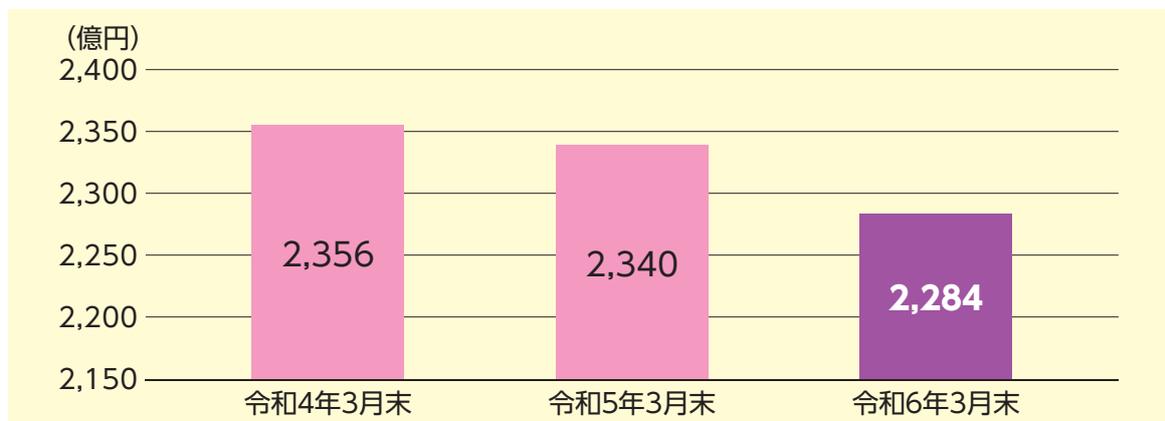


令和5年度 事業の概況

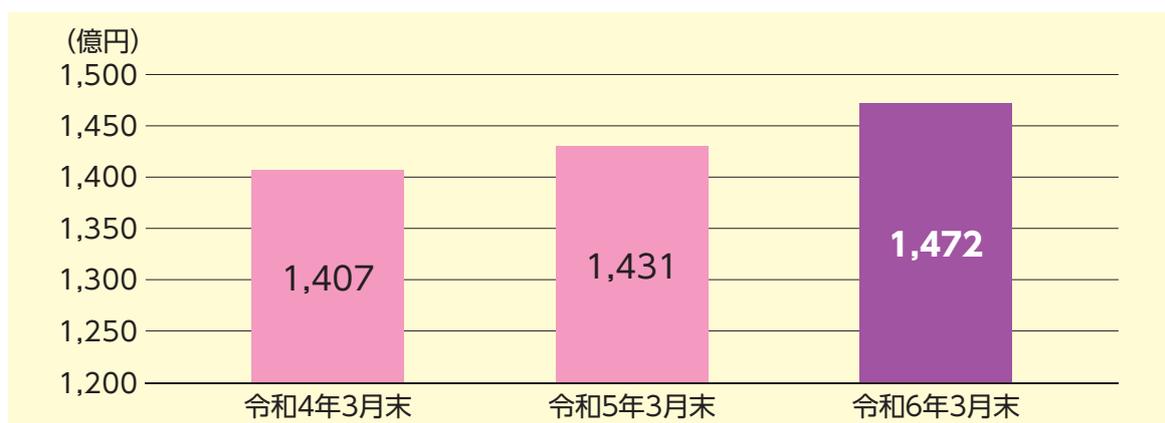
● 預金積金は、前期比55億円の減少

預金積金残高は前期末比55億円減少(2.37%減)の2,284億円となりました。



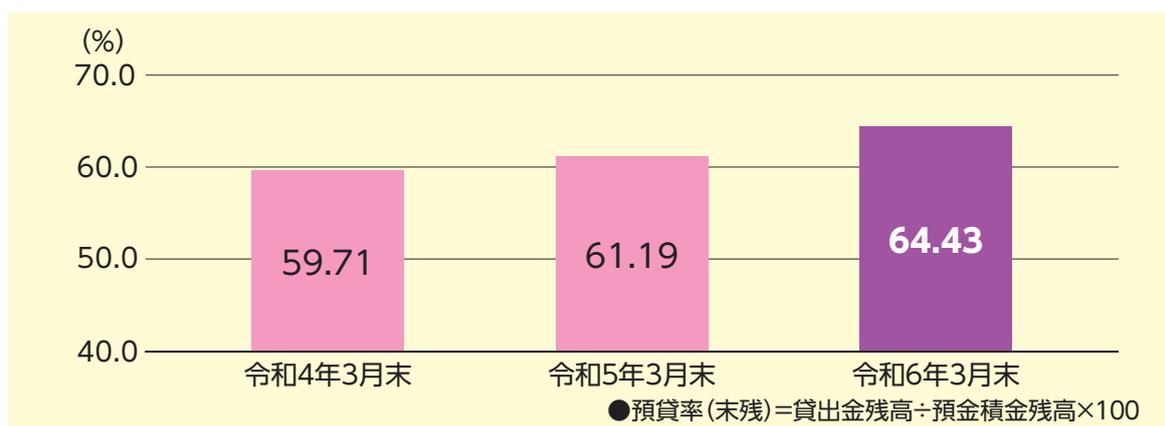
● 貸出金は、前期比40億円の増加

「お客様に喜ばれる取引の実践」の推進に注力した結果、貸出金残高は前期末比40億円増加(2.80%増加)の1,472億円となりました。



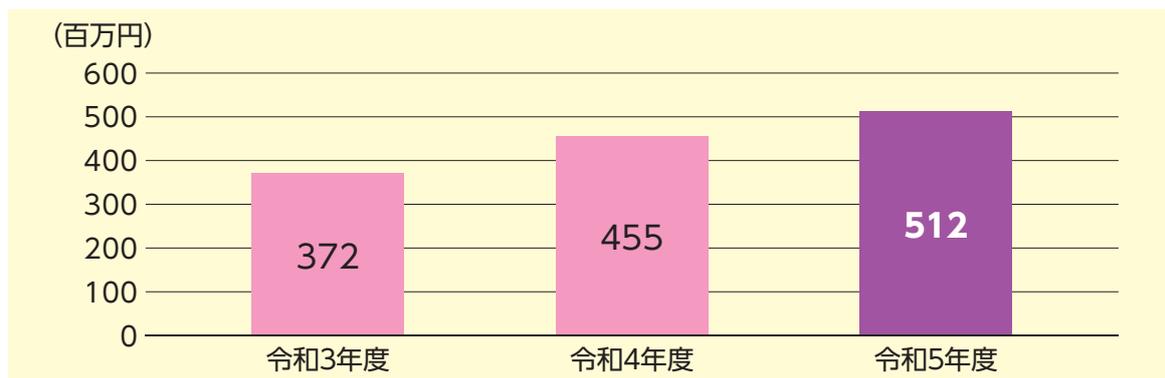
● 預貸率は、64.43%に上昇

預積金の減少及び貸出金の増加により、預貸率は前期末比3.24ポイント上昇の64.43%となりました。

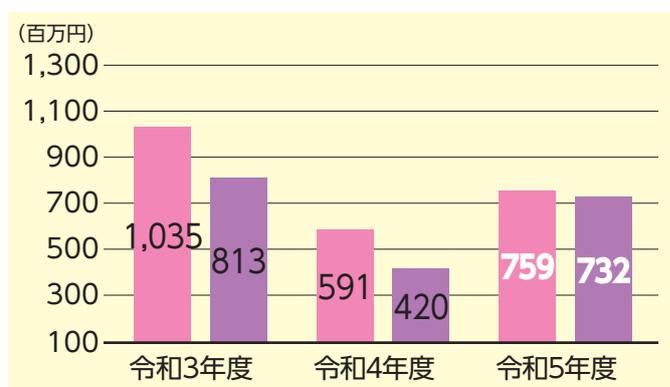


● コア業務純益は、前期比57百万円の増加

貸出金利回りの低下や人件費等経費の増加が続く中、貸出金残高の積上げによる利息収入増により、前期末比57百万円増加(12.52%増)となりました。



● 経常利益・当期純利益は、ともに増加



経常利益は168百万円増加の759百万円、当期純利益は、312百万円増加の732百万円となりました。

- 経常利益=経常収益-経常費用
- 当期純利益=経常利益+特別損益-法人税等-法人税等調整額

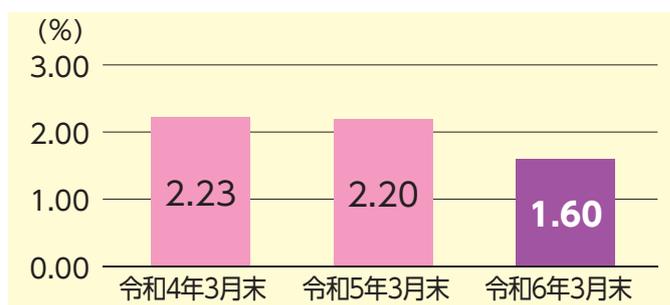


● 自己資本比率は、前期比0.18ポイント上昇

資産の安全性を示す自己資本比率は、前期末比0.18ポイント上昇し、10.72%となり、国内基準である4%を上回る水準を確保しております。



● 不良債権比率(金融再生法基準)は、0.60ポイント低下



不良債権比率は、前期末比0.60ポイント低下の1.60%となりました。

- 金融再生法基準不良債権比率= $\frac{\text{開示債権額(不良債権額)}}{\text{総与信額}} \times 100$

第72期 通常総代会の開催

第72期通常総代会が、令和6年6月25日(火)午前10時より、当組合本店において開催されました。当日は総代数116名のうち、出席23名(うち委任状による代理出席5名)及び書面による議決権行使93名、合わせて116名により全議案が可決承認されました。

● 議案

【報告事項】

第72期(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)事業報告、貸借対照表及び損益計算書報告の件

【決議事項】

第1号議案：第72期剰余金処分案承認の件

第2号議案：第73期(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)事業・収支計画案承認の件

第3号議案：定款の一部変更の件

第4号議案：組合員除名の件

I. 所在不明の組合員除名について

II. 債務不履行の組合員除名について

第5号議案：理事選任の件

理事5名選任について

第6号議案：監事選任の件

監事3名選任について

第7号議案：退任役員に対する慰労金支給の件



総代会制度について

● 総代会の仕組み

信用組合は、組合員の相互扶助の精神を基本理念に金融活動を通じて経済的地位の向上を図ることを目的とした協同組合組織金融機関です。また、信用組合には、組合員の総意により組合の意思を決定する機関である「総会」が設けられており、組合員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権及び選挙権を持ち、総会を通じて信用組合の経営等に参加することができます。

しかし、当組合は、組合員が52,632名(令和6年3月末)と多く、総会の開催が困難なため、中小企業等協同組合法及び定款の定めるところにより「総代会」を設置しています。

総代会は、総会と同様に組合員一人ひとりの意思が信用組合の経営に反映されるよう、組合員の中から適正な手続きにより選挙された総代により運営され、組合員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保しています。また、総代会は、組合の最高意思決定機関であり、決算や事業活動等の報告が行われるとともに、剰余金処分、事業計画の承認、定款変更、理事・監事の選任など、組合の重要事項に関する審議、決議が行われます。

総代は、組合員の代表として、総代会を通じて組合員の信用組合に対する意見や要望を信用組合経営に反映させる重要な役割を担っています。

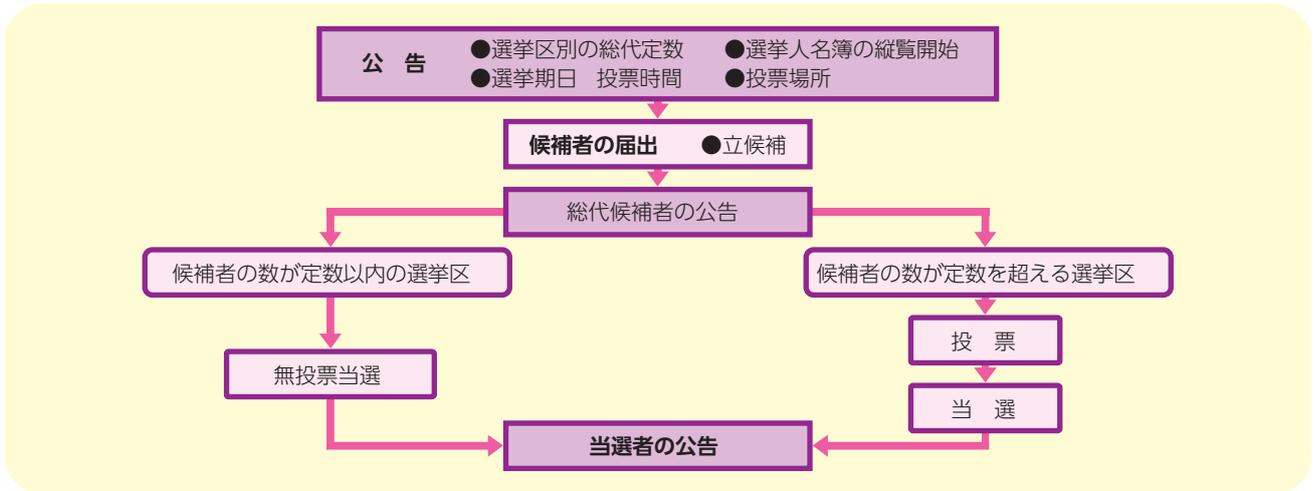


● 総代の選出、任期、定数

総代は、総代会での意思決定が広く組合員の意思を反映し適切に行われるよう、定款及び総代選挙規約に基づき選出されます。選挙区は地域的に近い営業店のまとまりを基本として、3選挙区に区分しております。総代の定数は100名以上120名以内で任期は3年です。

総代選挙について

● 総代選挙までの手続

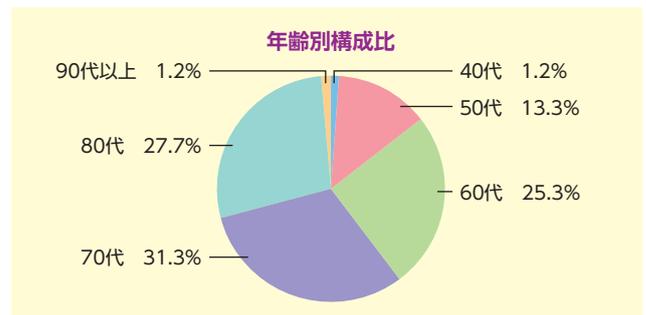
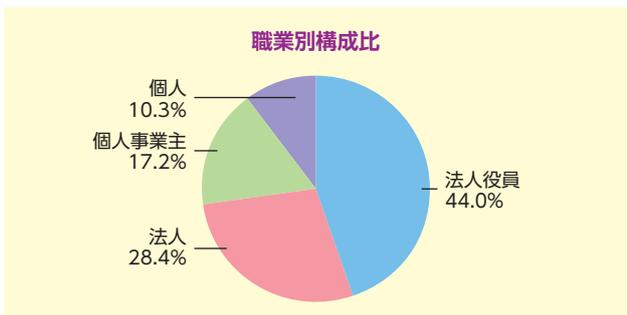


● 総代の選挙区・定数・総代数・総代氏名・構成比

(令和6年6月30日現在)

総代氏名				
第1区 大阪市 (総代定数：54名、総代数：53名)				
上田八木短資株式会社 [9]	日本タルク株式会社 [9]	中村 太 [3]	木村 重治 [4]	
中尾印刷株式会社 [9]	黒田 清行 [5]	帰山 福博 [8]	平田 貴子 [2]	
吉本 治正 [9]	上西 宏侑 [8]	花田 利彦 [3]	岡村印刷工業株式会社 [*]	
株式会社久寿野木ビルディング [*]	株式会社ニューモアカラー [4]	株式会社コーニッシュ [1]	内山 順吉 [2]	
カワセコンピュータサプライ株式会社 [*]	昌栄機工株式会社 [7]	株式会社FDS [1]	吉村 礼子 [8]	
株式会社合通ロジ [*]	株式会社ツタハラ [4]	富士電装株式会社 [*]	齋藤 昇 [7]	
株式会社星和ビジネスリンク [8]	株式会社たかぎ商店 [4]	佐々木 淳 [3]	大西 啓太郎 [2]	
星光ビル管理株式会社 [*]	橋本商事株式会社 [1]	岡田 勝身 [8]	酒木 信良 [1]	
株式会社セイカ [*]	名阪観光株式会社 [1]	城阪 勝喜 [3]	川本 公夫 [8]	
西谷商事株式会社 [*]	萬里商事株式会社 [*]	辻 憲治 [3]	山本 将義 [5]	
奥谷 森一 [8]	株式会社賃住 [7]	原口 茂 [4]	竹内 和良 [4]	
梅津 好文 [8]	日光パッキン株式会社 [*]	難波 利正 [3]		
木村 恒久 [8]	株式会社ヒガシトウエンティワン [*]	四宮 務 [1]		
株式会社櫻製作所 [*]	大阪北合同運送株式会社 [*]	川上 博 [8]		
第2区 守口市、吹田市、枚方市、豊中市、大東市 (総代定数：32名、総代数：32名)				
小路 喜代一 [9]	樋上 幸夫 [8]	株式会社たまゆら [1]	大本 博一 [4]	
株式会社ザ鈴木 [8]	山内 久生 [*]	橘内 英樹 [1]	中井 正弘 [4]	
龍建設工業株式会社 [5]	株式会社大塚 [4]	松本 信治 [7]	藤本 和俊 [8]	
丸山 和豊 [4]	株式会社ライブエステート [1]	岸野 肇夫 [8]	川村 悟司 [4]	
近藤 浪子 [4]	中井 利夫 [1]	松本 和美 [8]	北井 秀樹 [2]	
大昭建設株式会社 [*]	青木 荒義 [1]	吉田 三彦 [8]		
近藤 利三郎 [*]	小林 和美 [7]	緒賀 智子 [8]		
川上 興二 [3]	坂本 一彦 [7]	牧野 嘉伸 [5]		
松清 俊春 [8]	大久保 彰 [4]	米田 弘樹 [4]		
第3区 八尾市、東大阪市、堺市 (総代定数：32名、総代数：31名)				
塚口 純行 [*]	木田 潔 [*]	鶴田 慎一 [1]	松下 導治 [8]	
谷浦 敏夫 [7]	北川 忠嗣 [7]	後藤 紋子 [9]	谷口 尚眞 [4]	
宮井 光敏 [7]	森井 慎治 [4]	村上 實 [9]	山浦 富美代 [2]	
西尾 晴夫 [6]	西川 洋史 [4]	盛尾 清和 [5]	吉田 昌広 [8]	
今村 雄二 [5]	西野 克美 [4]	中野 敏彦 [2]	澤 正行 [3]	
井之上 浩 [3]	南條 保彦 [4]	株式会社井野屋 [6]	音野 裕司 [2]	
藤井 庸二 [2]	屋島 輝満 [2]	加茂 正徳 [8]	谷 好明 [1]	
藤井 利秋 [2]	森 保博 [1]	森川 恭秀 [8]		

(注)氏名の後に就任回数(任期3年)を記載しております(敬称略、順不同)。なお、就任回数が10回以上の場合は、[*]で表示しております。



お客様アンケート調査について

当組合では、地域に密着し利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立を目指す取り組みの一環として平成17年度より『お客様アンケート調査』を実施しております。

令和5年度も19回目となるアンケート調査を実施させて頂きましたところ、お取引先の皆様から多大のご協力と多くの貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございました。皆様から頂戴したご意見を参考に、以下のとおり業務改善に取り組んでまいります。

令和5年度の業務改善の実績 (第18回アンケート調査を踏まえた取り組み)

改善項目	具体的改善策	実施内容・時期
お客様の 利便性向上・ サービスの 充実に向けて	●ペーパーレス化を図り事務の効率化を促進するとともに、お客様の利便性向上に努めてまいります。	個人のお客様を対象とした口座管理アプリ「しんくみアプリ with CRECO」の利用対象を、個人向けインターネットバンキングをご利用のお客様から、キャッシュカードを保有する個人のお客様にまで拡大しました。また、照会可能科目や再連携操作が必要な間隔日数についても拡大しました。収納効率化及び電子化に向けた取り組みとして、令和6年4月から地方税統一QRコードを活用した納付への対応をしました。
	●コロナ後における様々な経営支援（資金繰り支援・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等）に努めてまいります。	新型コロナ収束後、様々な経営支援を実施しました。資金繰りでは伴走型支援を259先、事業再構築では4先を支援しました。また、ビジネスマッチングによる販路拡大支援等も積極的に努めました。
	●ご来店されたお客様に対し、元気な挨拶・明るい笑顔での対応を心掛け、スピーディーな対応で待ち時間短縮等に努めてまいります。	“元気な挨拶・明るい笑顔での対応”を全店で取り組んでおり、毎年高い評価を受けております。待ち時間短縮においては、事務の効率化・職員の能力向上によりスピーディーな対応を心掛け、お客様への気配りを大切にします。
地域の皆様 に安心し、より 親しみを 感じて 頂くために	●地域の皆様のサービス向上に向け、研修等を通じ当組合職員のスキルアップに努めます。	地域の皆様へのサービス向上に向け、外部講師による各種研修（マナー・相続・財務分析）の受講や資格の取得・推進を図り、職員のスキルアップに努めました。
	●営業主導のイベントや地元商店街等とのタイアップを通じた地域交流や、「盲導犬育成事業」をはじめとした社会貢献活動に取り組んでまいります。	営業店においては、日頃の感謝と地域の皆様との交流を目的に営業店感謝祭を開催。社会貢献活動については、「のぞみ合併20周年」の記念行事の一つとして、盲導犬育成事業を応援する目的に社会福祉法人日本ライトハウス様へ、業務用のハイブリッド自動車の寄付を行いました。
	●引き続き「SDGs宣言」をふまえ、地域社会の持続的発展に協力してまいります。	ESG投資の主旨を踏まえ、企業や各自治体が発行するSDGs債への投資を拡大しました。営業店においては、感謝祭を開催する際、フードロス対応や子ども食堂等への応援を目的にフードドライブへ参加したほか、社会貢献型定期預金「子ども未来」の販売を通じて、大阪府に対し一定の金員の寄付を行っております。

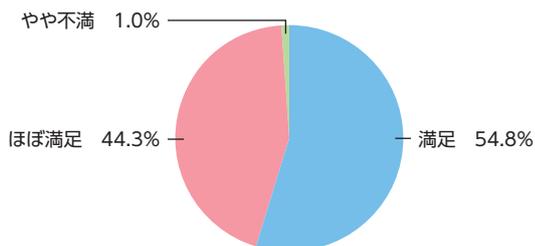
令和6年度の業務改善取り組み方針 (第19回アンケート調査を踏まえた改善策)

改善項目	具体的改善策
お客様の 利便性向上・ サービスの 充実に向けて	●デジタル化に対応した手続きや商品開発を進め、お客様の利便性向上に努めてまいります。
	●様々な経営支援（お客様サポート・資金繰り支援・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等）に努めてまいります。
	●ご来店されたお客様に対し、元気な挨拶・明るい笑顔での対応を心掛け、スピーディーな対応で待ち時間短縮等に努めてまいります。
地域の皆様 に安心し、より 親しみを 感じて 頂くために	●地域の皆様へのサービス向上に向け、常にお客様目線に立った対応を心掛けるとともに、研修等を通じ当組合職員のスキルアップに努めます。
	●営業主導のイベントや地元商店街等とのタイアップを通じた地域交流や、「盲導犬育成事業」をはじめとした社会貢献活動に取り組んでまいります。
	●引き続き「SDGs宣言」をふまえ、地域社会の持続的発展に協力してまいります。

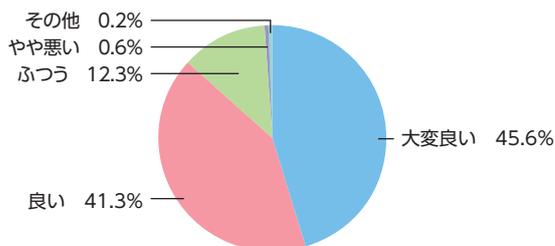
第19回お客様アンケート調査の実施要領

- 調査実施期間 令和6年1月11日(木)～令和6年1月25日(木)
- 調査対象 ・融資又は預金のお取引先（店頭来店先・営業担当者訪問先）
・1店舗あたり30～80先（店舗毎のお取引先数割）を無作為に抽出
- 調査方法 店頭又は訪問により依頼、郵送により回収、無記名
- 調査先数 総先数700先
- ご回答総数 637先（回収率91.0%）

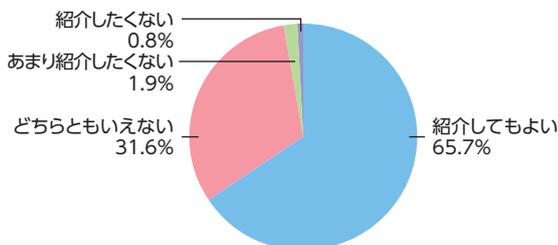
Q1：当組合に対する総合的な満足度についてお聞かせ下さい。



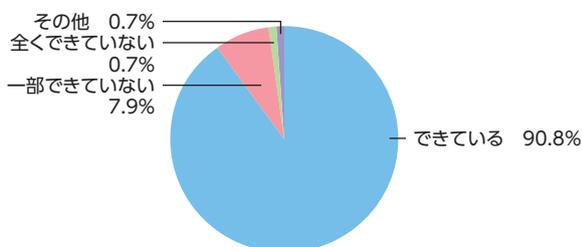
Q2：お取引店舗の印象についてお聞かせ下さい。



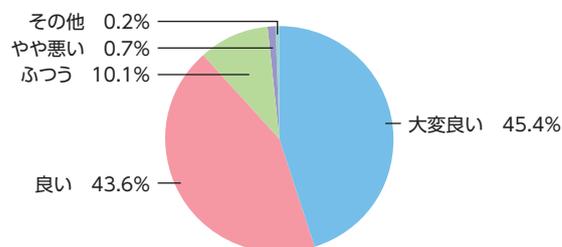
Q3：当組合を紹介してもよいかお聞かせ下さい。



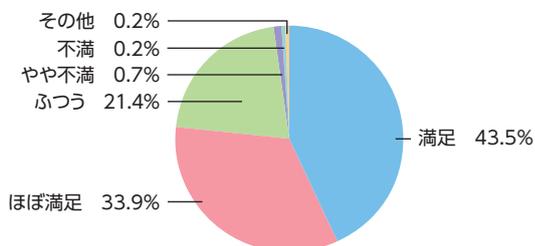
Q4：「元気な挨拶・明るい笑顔」で接客についてお聞かせ下さい。



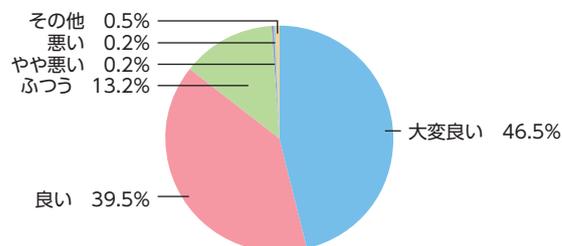
Q5：窓口職員の接客マナーについてお聞かせ下さい。



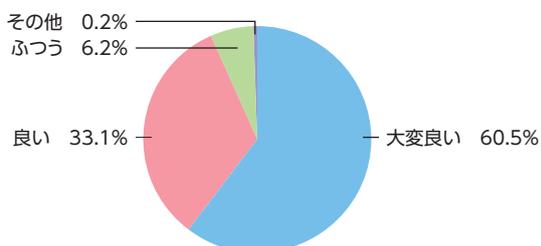
Q6：窓口職員の説明の分かりやすさについてお聞かせ下さい。



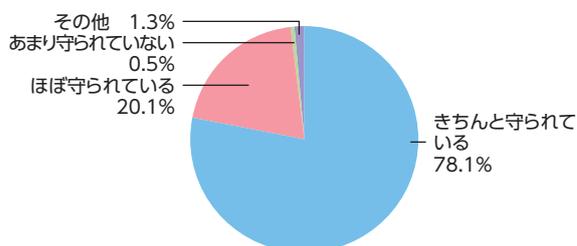
Q7：職員の電話応対についてお聞かせ下さい。



Q8：営業担当者の接客マナーについてお聞かせ下さい。



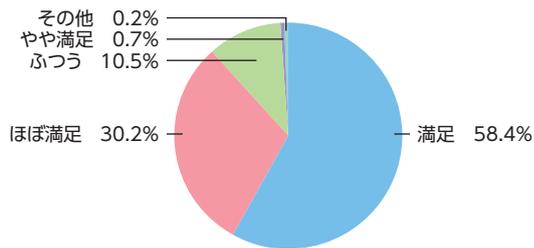
Q9：営業担当者の訪問日時の約束についてお聞かせ下さい。



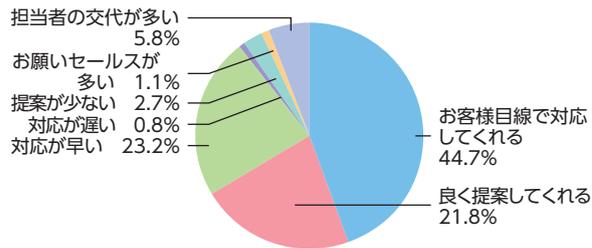
お客様アンケート調査について

概要

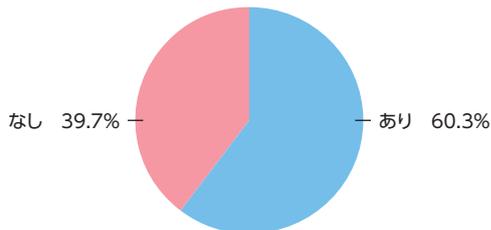
Q10：営業担当者の説明の分かりやすさについてお聞かせ下さい。



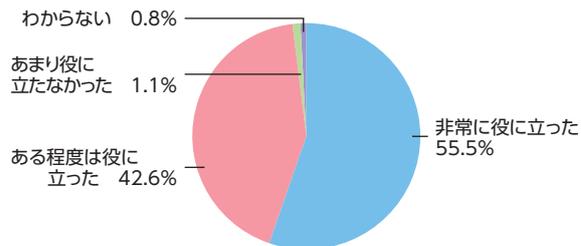
Q11：営業担当者の印象についてお聞かせ下さい。



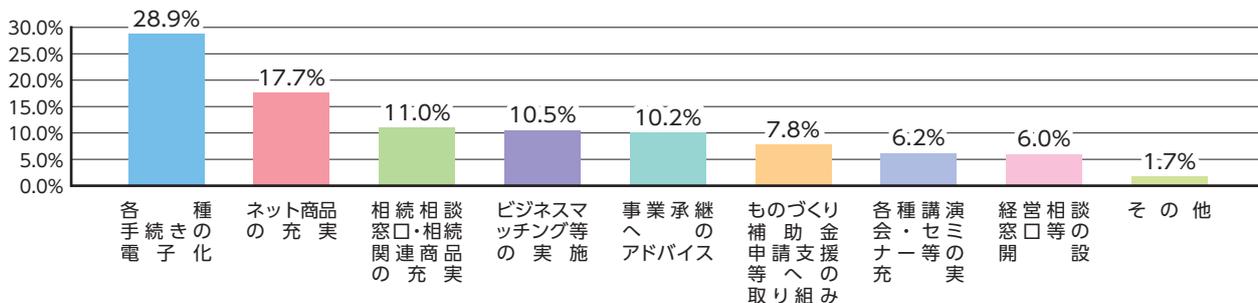
Q12-①：提案・アドバイスの有無についてお聞かせ下さい。



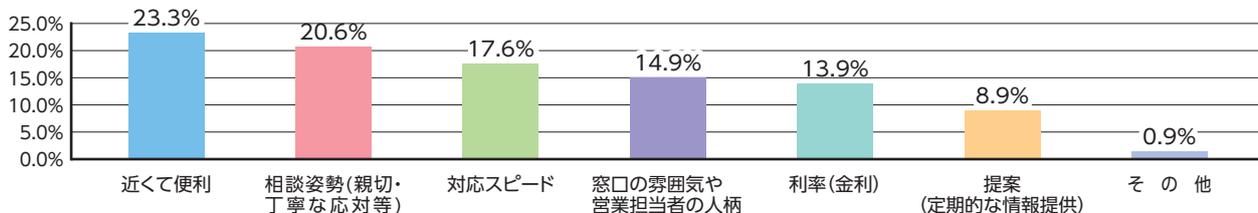
Q12-②：提案・アドバイスはお役に立ちましたかお聞かせ下さい。



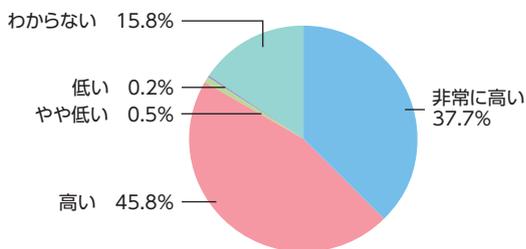
Q13：当組合に対するご要望についてお聞かせ下さい。



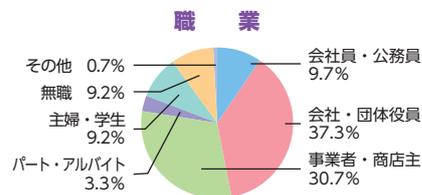
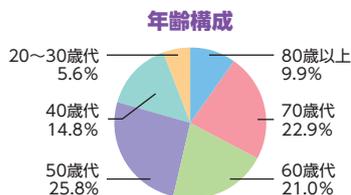
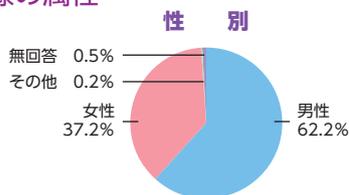
Q14：金融機関の選択についてお聞かせ下さい。



Q15：当組合の職員のコンプライアンス(法令順守)意識についてお聞かせ下さい。



●お客様の属性



のぞみ合併20周年記念事業

おかげさまで、のぞみ信用組合は合併20周年を迎えることができました。これもひとえに、地域のお客様の変わらぬご支援の賜物であり、感謝申し上げます。今後とも、地域のお客様のお役に立てる経営の実現に邁進してまいります。

寄付金について

SDGs(持続可能な開発目標)達成への取り組みの一貫として寄付を行い、地域社会の持続的発展に努めました。

- 子どもたちが同じスタートラインに立ち、輝く未来に向かって進むことができるよう大阪府が設置した「子ども輝く未来基金」へ寄付をおこないました。

※令和5年11月に100万円の寄付を行いました。

- 盲導犬育成事業を応援する目的で、「盲導犬育成事業応援定期預金・定期積金」を夫々発売し、お預け入れ総額に対して、社会福祉法人日本ライトハウスへ寄付を行っております。

※平成22年度～令和5年度に合計610万円の寄付と盲導犬訓練車を贈呈させていただきました。



〔令和6年3月 盲導犬訓練車贈呈：本店〕

安心してお取引いただけるための取り組み

● 認知症サポート態勢

当組合では、役職員が「認知症サポーター養成講座」を受講しており、役職員全員受講を目指しています。

● 障がい者サポート態勢

全店にコミュニケーションボードを設置し、障がいをお持ちの方へのサポート態勢の充実を図っております。

● 後見制度ご利用の方の利便性向上

当組合では、ご本人の財産の適切な管理・利用のための後見制度支援預金を取扱いしております。

※後見制度支援預金とは、後見制度を利用されるご本人の財産のうち、日常的な支払いに必要な金銭と別に、通常使用しない金銭を特別な預金として預託するものです。

後見制度支援預金をご利用される場合、預金の払戻しや解約、入出金を行う際、予め家庭裁判所が発行する「指示書」が必要となりますので、ご本人の財産を安全・確実に管理することができます。

● 特殊詐欺未然防止

当組合では、ATMをご利用されるお客様への声掛けや、ご出金・お振込の手続きをされるお客様への内容確認を徹底するなど、振り込め詐欺等の未然防止に努めています。

● 高齢者サポート態勢

堺市では、高齢者の方が安心して暮らせるまちづくりを目指し、「堺市高齢者見守りネットワーク」事業を展開されております。

当組合は本事業に賛同し、該当店舗である萩原天神支店・堺陵南支店を事業者登録しております。

● AED(自動体外式除細動機)を全店設置

当組合では、万一来て備えてAEDを全店に設置しております。

地域密着型金融の取り組み

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況について

● 中小企業の経営支援に関する取り組み方針

地域社会・地域経済の発展に貢献することを目的にコンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

● 態勢整備の状況について

経営革新等支援機関の認定を受け、審査部内に支援担当を設け各営業店と連携を図っております。

● 取り組み状況

創業・新事業開拓への支援

中小企業者及び小規模事業者等を連携して支援することを目的に株式会社日本政策金融公庫と業務提携しております。

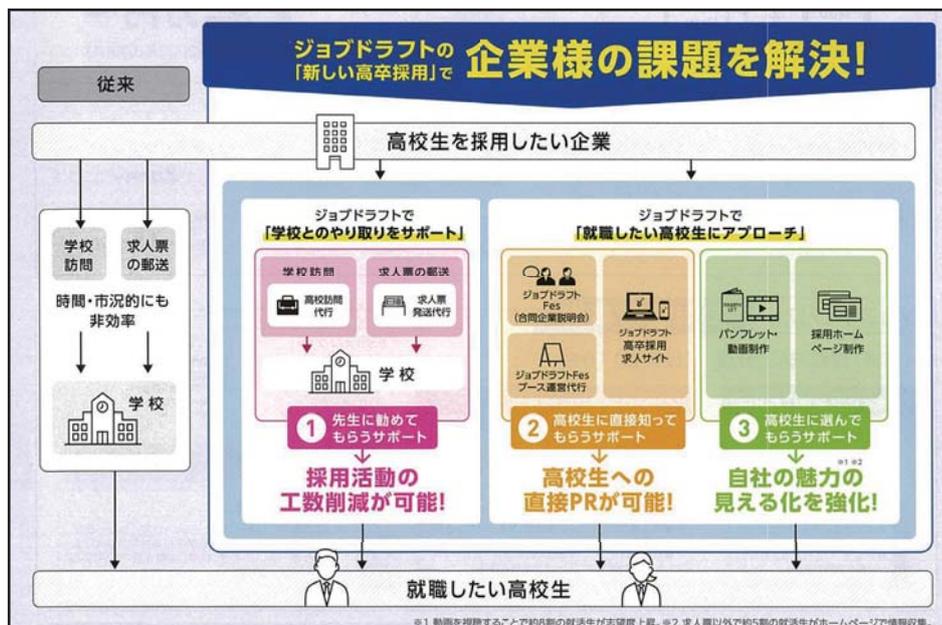
連携融資及び創業者向け事業資金「希望（のぞみ）」を活用し、創業・新事業を支援しております。

成長段階における支援

- 当組合では、各営業店のお客様の様々なご相談や情報提供等のご要望について、全店の情報網を活かし幅広くスピーディーなご提案に努めております。



- 高校生に求人情報を届けるツールの作成、リアルでの採用イベントの活用、高卒ノウハウの提供等、様々な面から採用活動をサポートする「ジョブドラフト」をご紹介させていただいております。「ジョブドラフト」とは株式会社ジンジブが提供する高校生の新卒採用トータルサポートサービスです。



- でんさいネットの利用促進に努め、「でんさい割引」を行うなど、動産担保融資の推進に努めました。

令和5年度 でんさいネット利用件先数： 113先
「でんさい割引」実績： 28先、757百万円

※でんさいネットとは、一般社団法人全国銀行協会が設立した電子記録機関である「株式会社全銀電子債権ネットワーク」の通称で、手形・振込に代わる新しい資金決済サービスです。

- 当組合がコーディネーターとして、リンカーズ株式会社が提供するものづくり系マッチングサービス「Linkers」を活用し、当組合のお取引先の販路拡大や新事業進出を支援しております。



経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- 中小企業庁の認定経営革新等支援機関として、地域の事業者の方が抱える問題や課題に対して、迅速かつ真摯にお応えし、「事業承継」や「ものづくり補助金」等の情報提供や申請支援を積極的に行っております。
- 人材不足の解消や採用時間の削減等の課題解決の一助として、法人のお取引先に対して「ミイダス」をご紹介させていただいております。「ミイダス」とはミイダス株式会社が提供する人材マッチングサービスです。
- 助成金の提案から受給までをサポートする経営支援サービスとして、法人・個人事業者のお取引先に対して「Jマッチ」をご紹介させていただいております。「Jマッチ」とは株式会社ライトアップが提供する経営支援サービスです。



「経営者保証に関するガイドライン」への対応について

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応する態勢を整備しております。経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。また、どのような改善を図れば経営者保証の解除の可能性が高まるかなどを具体的に説明し、経営改善支援を行っております。

● 「経営者保証に関するガイドライン」の取り組み状況

	令和4年度	令和5年度
新規に無保証で融資した件数	386件	726件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合(%)	20.9%	33.2%
保証契約を解除した件数	12件	18件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当組合をメイン金融機関として実施したものに限定)	0件	0件

大阪府中小企業支援ネットワーク

地域の面的再生を促進する観点から、中小企業の経営改善や再生を促す環境を整備する目的に大阪信用保証協会が事務局となり「大阪府中小企業支援ネットワーク」を構築しております。

当組合も地域金融機関として同ネットワークに参加し、地域の事業者の方に対する経営改善支援等、お役に立てるよう情報の収集に努めてまいります。

のぞみ信用組合「SDGs宣言」

のぞみ信用組合は、「地域と人にやさしいコミュニティバンクとして中小企業・個人事業者と生活者の繁栄を願い、きめ細かな金融サービスを通じて、みなさまの〈のぞみ〉実現のパートナーになります」を経営理念として、地域において真に必要とされる金融機関を目指し、役職員一同全力で取り組んでまいりました。

当組合は、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）達成への取り組みを通じて、これからも地域社会の持続的発展に努めていくことを宣言いたします。

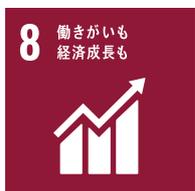
令和4年1月1日
のぞみ信用組合
理事長 平野 二三記



SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。
「誰一人取り残さない」という理念のもと、持続可能な世界を実現するための17の目標（ゴール）と169項目の取り組み（ターゲット）で構成され、2030年までに達成を目指す世界共通の開発目標です。

1 地域経済活性化への取組

- 事業者へのきめ細かな訪問
- 創業支援
- ネットワークを活用したビジネスマッチング支援
- 事業者の経営力向上、経営改善支援
- 各種助成金・補助金申請支援
- 景況アンケート



2 環境保全への取組

- LED照明への切替による店舗の省電力化
- IT化によるペーパーレスの推進
- カーボンオフセット通帳
- 地元NPOとの連携によるフードバンクへの参加
- クールビズの実施
- ESG投資
- ディスクロージャー誌の植物インキ使用
- 紙製クリアファイルの使用



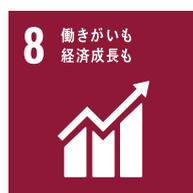
3 地域社会貢献への取組

- 盲導犬育成事業の支援
- 「しんくみの日週間」における献血運動、地域行事への参画
- 振り込め詐欺被害の未然防止、サイバーセキュリティへの対応
- マネロン・テロ資金供与対策への取組
- 大阪府が設置した「子ども輝く未来基金」への寄付



4 地域の未来を担う人材育成

- 各種検定試験、資格取得の奨励
- 職員に対するストレスチェックの実施
- 女性管理者や営業担当者の育成、配置
- 認知症サポーターの育成
- 後見支援制度預金の取扱い
- 職員に対するエンゲージメント（働きがい）調査の実施
- 女性活躍促進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定



第7次中期経営計画について〈令和6年4月～令和9年3月〉

地域において真に必要とされる金融機関を目指して

経営理念(目指すべき姿)

地域と人にやさしいコミュニティバンクとして中小企業・個人事業者と生活者の繁栄を願い、きめ細かな金融サービスを通じて、みなさまの〈のぞみ〉実現のパートナーになります。

経営戦略

「相互扶助」の理念のもと、地域の皆様の様々な課題を解決するための取組みを強化する

重点取組項目

1. お客様目線に立った金融サービスの実践
2. 持続可能なビジネスモデル構築に向けた経営基盤の強化
3. 明るい未来に向けた人的資本投資

重点取組項目について

1

お客様目線に立った金融サービスの実践

- 「喜ばれる取引」の継続推進
- 課題解決に向けた資金繰り支援や経営改善支援、及び事業再生支援等の実践
- お役に立てるデジタル化とDX推進
- 地域経済や高齢顧客等に寄り添った金融サービスの提供

2

持続可能なビジネスモデル構築に向けた経営基盤の強化

- 店舗戦略の再構築と店舗運営の見直し
- 組織体制と業務内容の見直し
- 経営管理態勢の強化
- リスクを踏まえた業務推進への取組

3

明るい未来に向けた人的資本投資

- 教育研修内容の拡充による見直し
- 人材の育成と就労環境の整備